

第2章

産業振興で 目指すもの

- 1 将来像
- 2 分野ごとの目指す姿
- 3 産業振興がもたらす効果

1 将来像

ここで うまれる ここで そだつ ここで つながる 西東京市

本市は、市内の農地で様々な農産物が生産され、多岐にわたる事業者が活動し、昔ながらの商店街が息づく中を、多くの在住・在勤・在学者等が行き交うまちです。

本市で事業を営んでいる人、長年住んでいる人、最近引っ越してきた人、通勤・通学している人等、本市に縁のある人全員が産業振興に不可欠な存在であり、一人ひとりの日々の活動を通じて、多様なものが市内で生まれ、そだち、つながり、そして、循環していきます。この過程において、より多くの人それぞれのタイミングで自由に参画し、協力しながら、さらに積極的に活動することで、西東京市の産業がますます発展し、将来にわたって続いていきます。

人々がやりがいと希望を持っていきいきと活動することで、多くのものが生まれ、そだち、つながっていく、にぎわいのある元気なまちを目指して、

「ここで うまれる ここで そだつ ここで つながる 西東京市」
を本計画の将来像に掲げます。

うまれる

- 地域に根ざした産業がうまれる
- 地域課題の解決に向けた活動がうまれる
- 生活をより豊かで便利にする商品やサービスがうまれる
- 西東京市の魅力を感じられる特産品やお出かけスポットがうまれる
- 商店街の空き店舗を活用して、新しいお店がうまれる
- 多くの人が西東京市に集まり、まちににぎわいがうまれる

そだつ

- 事業を安定して継続できる、しっかりとした経営基盤がそだつ
- 市内の農地で、人々の豊かな食生活と健康を支える農産物がそだつ
- 地域を盛り上げ、様々な場面で活躍する人材がそだつ
- 様々な活動を通じて、西東京市の魅力がそだつ
- 西東京市が好き！ という気持ちがそだつ

つながる

- 市内の事業者が市内外の多様な主体との交流や連携を通じてつながる
- 交流や連携を通じて得た情報やアイデアが、新規事業等につながる
- 事業承継によって、市内産業が次世代につながる
- 人々が農業に親しみ、市内の農地が次世代につながる
- 消費者が事業者や農業者とつながる
- 市が事業者や市民と密接につながる
- 市内の身近なお店を利用して地域に顔見知りが増え、人と人とがつながる

2 分野ごとの 目指す姿

本計画では、後期計画に引き続き、農業・農地に関する「農」分野、商業・サービス・ものづくりに関する「しごと」分野、商店街に関する「商店街」分野と、これら3つの分野にまたがる横断的視点であり、西東京市のイメージや魅力の向上に関する「西東京市ブランド」分野の4つの分野において、取組みを実施します。

各分野における目標は、将来像を各分野の視点から見た具体的な姿である「分野ごとの目指す姿」として示します。

「ここで うまれる ここで そだつ ここで つながる 西東京市」を共通の目標として見据え、「分野ごとの目指す姿」の実現のために各分野において効果的な取組みを実施し、それらの成果を積み重ねることで、着実に産業振興を進めていきます。

ここで うまれる ここで そだつ ここで つながる 西東京市

身近な「農」がまちと共生し、次世代に受け継がれる

農業・農地

個性豊かな「しごと」が、人もまちもいきいきと輝かせる

商業・サービス・ものづくり

元気な「商店街」が人々の暮らしを支え、にぎわいを生む

商店街

魅力あふれる「西東京市ブランド」が、まちに活気をもたらす

横断的視点

「農」の目指す姿

身近な
「農」がまちと
共生し、次世代に
受け継がれる

市内の農地を将来にわたって保全するために、市民が日常的に「農」に親しみながら農業・農地の重要性を理解し、農地の様々な機能を積極的に活用して、都市と農地が共生するまちを目指します。

「しごと」の目指す姿

個性豊かな
「しごと」が、人も
まちもいきいきと
輝かせる

市内産業が持続的に活性化していくために、一人ひとりが自分に合った働き方（「しごと」）を実現できる環境づくりを進め、誰もが充実した支援を受けられ、やりがいや夢を持ってチャレンジできるまちを目指します。

「商店街」の目指す姿

元気な
「商店街」が人々の
暮らしを支え、
にぎわいを生む

長年にわたって愛されてきた「商店街」がこの先も続いていくために、人々のニーズに応える便利で楽しい「商店街」が地域のにぎわいを生み、人々の居場所となるまちを目指します。

「西東京市ブランド」の目指す姿

魅力あふれる
「西東京市ブランド」
が、まちに活気を
もたらす

西東京市がより魅力的になるために、既存の地域資源の魅力発信や、まちの新たな魅力の創出・磨き上げを通じて、「西東京市ブランド」をきっかけとして多くの人々が「行ってみたい！」と思うまちを目指します。

3

産業振興が
もたらす
効果

産業振興によって将来像や分野ごとの目指す姿が実現されると、地域経済が活性化するだけでなく、人々の暮らしが豊かになり、その暮らしを支えるまちの価値や魅力等も向上することが期待されます。

ここでは、産業振興によって期待される効果を、「まち」と「ひと」の2つの側面から示します。

1 「まち」にもたらす効果

①

安定した事業の継続や事業者数の増加により、
まちの活力と豊かさが増す

- 事業者の経営が安定し、新規事業も生まれることで、市内の雇用や消費が増える。
- 西東京市がより便利で住みやすいまちになることで多くの人が集まり、まちに活気とにぎわいが生まれる。
- 市内で働き、市内で消費する人々が増えることで、市内事業者の収益がさらに増えるという好循環が生まれる。

②

産業が持つ様々な役割を活かし、市民の暮らしの
安心と安全を支える

- 地域の人々のつながりが強化され、日常の困りごとや災害時等の困難に幅広く対応し、助け合える関係が構築される。
- 日中に市内で活動する人が増えることで、まちに人の目が行き届き、防犯上の安全性が増す。

③

地域資源の魅力が磨き上げられて西東京市の
存在感が高まり、地域の価値が向上する

- 既存の地域資源を活用しながら、積極的な情報発信を通じて西東京市の魅力を市内外に広く伝えることで、西東京市のイメージが向上する。
- 西東京市の知名度とイメージが向上することで、市内事業者や市内産農産物・商品等の付加価値が高まる。

昔ながらの銭湯でほっと一息

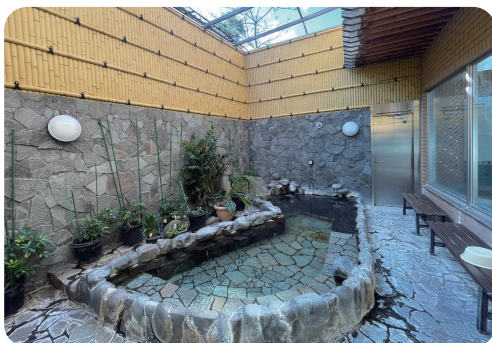
今から50年以上前の昭和40年代、旧田無市と旧保谷市には合計22軒の銭湯が存在していましたが、家庭用のお風呂の普及や後継者不足等の様々な理由から、時代の流れとともにその数は減っていきました。現在市内には、庚申湯（芝久保町）、ゆパウザひばり（谷戸町）、みどり湯（ひばりが丘）の3軒の銭湯があり、多くの人々に癒しと元気を提供する地域の憩いの場として、長年愛されています。

庚申湯は、伝統的な破風づくり屋根が地域のシンボルとなっています。ゆパウザひばりは、休符を意味する音楽用語「パウザ」の名のとおり、訪れる人々が一息ついて休める時間を提供しています。みどり湯には、ジェットバスや電気風呂などの充実した設備があり、いろいろな楽しみ方ができます。

また、利用者同士の交流も銭湯の大きな魅力の一つです。お湯につかりながらのちょっとしたおしゃべりで身も心もほぐれ、リフレッシュできます。大きな湯船がある銭湯ならではの魅力をぜひ味わってみませんか。



庚申湯



ゆパウザひばり



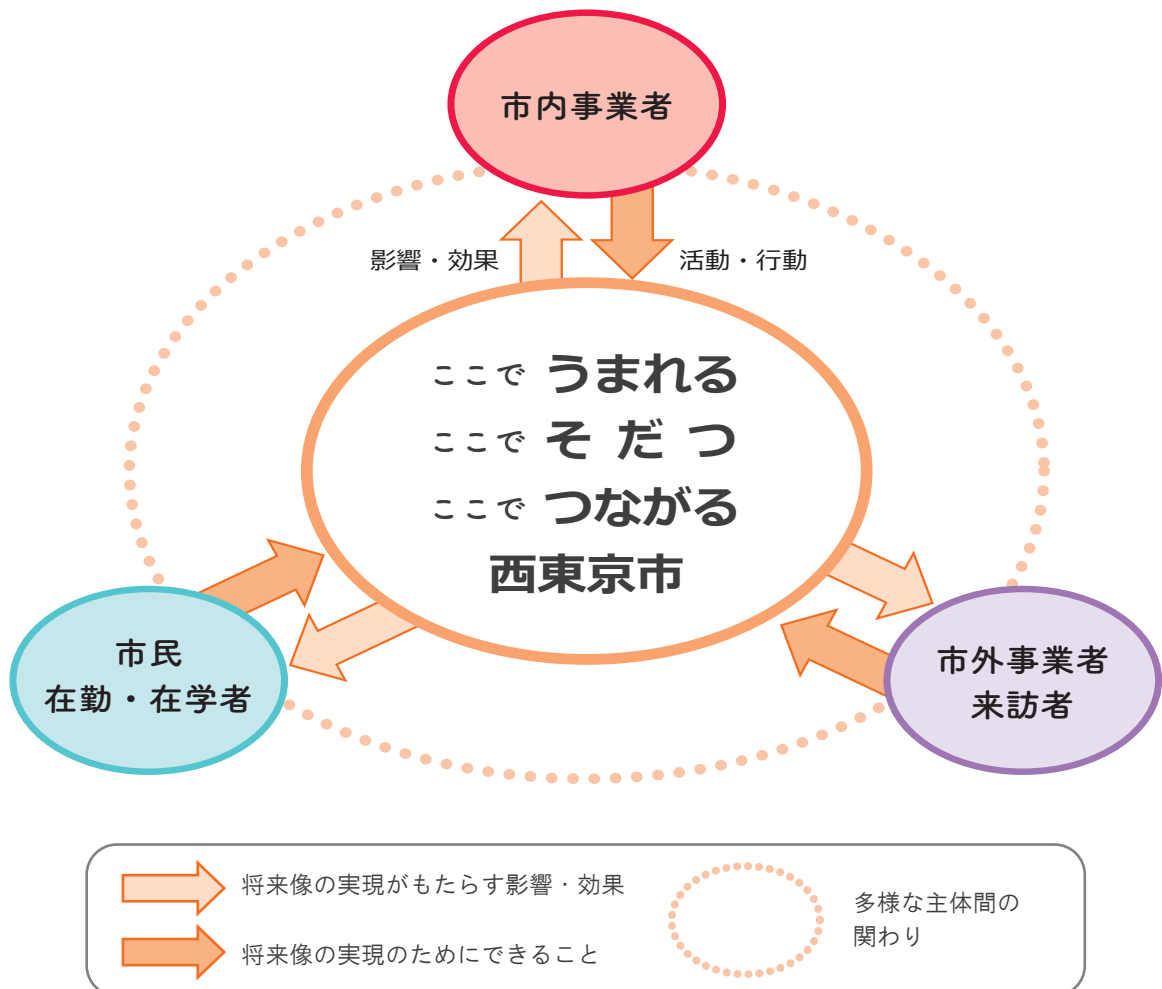
みどり湯

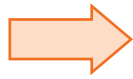
2 「ひと」にもたらす効果

多様な主体が関わり合いながら様々な活動を実施することにより、地域の産業が発展し、将来像が実現されると、様々なプラスの影響や効果がもたらされることが期待されます。それらは、事業者だけでなく、西東京市に関わる全ての人々の暮らしや仕事等の幅広い範囲にあらわれます。

産業振興を推進するためには、事業者や市民、在勤・在学者、来訪者等、西東京市に関わる一人ひとりの日頃の意識や行動が重要となります。それぞれの立場によって、産業振興のためにできることは様々であり、各主体が連携しながら一つ一つの活動を積み重ねていくことで、西東京市の産業が大きく発展していきます。また、市や商工会、金融機関等は各主体に対して支援を行い、市内産業の発展に向けて、ともに取り組みます。

このような産業振興と人々の相互的な関係により、これまで以上に西東京市の産業の活性化を進めることで、より豊かで便利な生活につながるという好循環が生まれることが期待されます。





将来像の実現がもたらす
影響・効果



将来像の実現のために
できること

<p>市内事業者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の継続・拡大ができる ・ 市内外の事業者等との連携によって、新たな事業が生まれる ・ 人材・後継者の確保につながる ・ 多面的な機能を持つ農地が維持及び活用される ・ 「西東京市ブランド」の魅力が高まることで、事業者の商品やサービス等の価値も高まる ・ 地域とのつながりが強くなる <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の事業者と交流・連携する ・ 西東京市や商工会等からのお知らせを積極的に受け取る ・ 地域コミュニティに参加する ・ 地域のためになる活動を行う ・ 地域のイベントに参加する ・ 西東京市の新たな特産品を開発する <p>など</p>
<p>市民 在勤・在学者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内で働く選択肢が増える ・ 自分らしい働き方が見つかる ・ 買い物等、日々の暮らしがより便利になる ・ 市内産農産物や商品が手に入り、暮らしの安心感が増す ・ 地域とのつながりが強くなる ・ 西東京市に住みたくなる・住み続けたいくなる <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内産農産物や商品を購入する ・ 市内の商店街や直売所等を利用する ・ 市内にお気に入りのお店を見つける ・ 西東京市からのお知らせ（SNS等）を自発的に受け取る ・ まち歩き等を通じて、西東京市についてもっと知る ・ 地域活動やボランティア活動に参加する ・ 地域のイベントに参加する ・ 市内の情報を発信する <p>など</p>
<p>市外事業者 来訪者</p>	<p>市外事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内事業者等との連携によって新たな事業が生まれる ・ 市内への出店等、事業拡大の可能性が高まる <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内で開催されるイベント等に出店する ・ 市内で開催されるセミナー等に参加する ・ 商工会や商店会等と交流する <p>など</p>
	<p>来訪者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内での就職が選択肢に加わる ・ 起業・創業の候補地に加わる ・ 市内に魅力的な場所が増える ・ 西東京市に住みたくなる <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内で開催されるイベント等に参加する ・ 市内の魅力的な場所に行く ・ 西東京市のファン・リピーターになる ・ SNS等を使って、西東京市の情報や魅力を発信する <p>など</p>

発展を続けるハンサム・ママプロジェクト

子育てしながら理想の働き方を実現するための支援事業であるハンサム・ママプロジェクトは、起業・創業を志す方に向けた講座の開催や個別相談の実施など、受講者が自身のレベルに応じて選べる様々なプログラムを提供しています。

また、講座等で学んだことを実践する場として、ハンサム・ママフェスタを毎年開催しており、出展者同士だけでなく、出展者を応援する方やハンサム・ママプロジェクトの他の講座の受講者等との交流の場になっています。

ハンサム・ママプロジェクトは、本市独自の起業・創業支援策として発展を続けており、令和5（2023）年度で8年目を迎えました。毎年多くの方にご参加いただく中で講座内容もより一層充実し、市内での起業・創業者の増加に大きく貢献しています。今後も、「西東京市ブランド」の一つとして、起業・創業者のニーズに応えるための支援を検討及び実施し、本市における起業・創業の動きを加速させていきます。



講座の様子



ハンサム・ママフェスタ出展者